植木病院だより

Vol.11
平成19年11月

発行所 〒861-0136 熊本県鹿本郡植木町岩野285-29
TEL096-273-2111 FAX096-272-2117 植木町国民健康保険 植木病院 発行人 鳥越 義継



Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構

猛暑も忘れたかのように急に朝夕冷え込む季節となりました。

さて、先日国保直診施設で構成する熊本県国保地域医療学会が熊本市で開催されました。テーマは「地域医療における医療と保健・介護・福祉の統合を目指して」で、国保直診の目指す「包括ケアシステム」そのものをテーマとしたものでした。

国保直診を取り巻く状況は厳しいのですが、その様な状況下でも患者さん方により安全で良質な医療・療養環境を提供するための業務改善策を、科学的な研究という方法を用いて評価した結果を各施設から発表されました。当院からも ①「内視鏡室における感染対策の評価およびその後の取り組み」、②「転倒・転落予防の取り組み ――危険度別防止対策チェックリストを使用して――」、③「ポータブルトイレの不快臭に対する重曹の有用性」の三題を発表しました。

当院の基本方針に「たゆまざる質向上と自己研鑽」と掲げておりますが、それぞれの職員が、日々の業務の中で改善できる問題点を見つけ、PDCAサイクルにたとえると、文献や他医療機関の取り組みの情報を参考に科学的に効果のある策を考え（Plan）、臨床の場で実践（Do）し、それを評価（Check）し、さらなる改善（Action）を行っていくことで業務改善を持続させるよう努力しております。ただその出発点となる「**問題点への気付き**」については、内部だけからの視点では限界があり、患者さん方や住民の方々など外部からの意見が「**問題点への気付き**」に重要だと考えております。当院でも意見箱の他、医療相談など病院への意見、相談を受け付けておりますので、貴重なご意見頂きたいと思います。

副病院長 勇 聡

部署訪問

今回は**検査科**を紹介します。



検査科は、生理検査・検体検査を臨床検査技師 6名で実施しています。検体検査については、ブランチラボシステムにて対応しています。また緊急時には迅速に対応できるようにオンコール体制を整えています。

検査科はチーム医療を心掛け、NST（栄養サポートチーム）活動・ICT（感染制御チーム）・各委員会・採血業務・健診業務など、他の業種と協力しながら活動しています。

生理検査

生理検査は血液や尿などの検体を扱う検査と異なり、検査機器を用いて技師が直接患者様に接して行なう検査です。当院で行なわれている検査は心電図検査（安静、負荷、24時間）、肺機能検査、聴力検査、脳波検査、超音波検査（心臓、頸動脈）、眼底検査などがあります。スタッフ全員、迅速かつ正確な検査と患者様とのコミュニケーションを大切にし心と体の医療に取り組んでいます。

検体検査

業務内容は生化学検査24項目、血液検査10項目、凝固検査2項目、血清検査2項目、尿検査8項目、交叉適合試験、血液型、血液ガス分析、白癬菌塗抹、尿ピロリ菌、トロポニン、妊娠反応、マンモテック、インフルエンザ抗原を実施しています。

DPC（診断群分類）算定方式への準備として、生化学検査でセット項目も見直しをしました。

また管理血清を使用した院内精度管理や年2回外部（熊本県臨床検査、日本医師会）の精度管理に参加し品質と安全の向上、検査原価の削減に対して日々努力しています。

TOPICS NST（栄養サポートチーム）について

患者様の栄養管理をチームで行うことは、医療現場において重要な役割を果たします。栄養状態の悪化は、病気、外傷、手術などからの回復を遅らせるだけでなく、日常生活の活動やQOLの低下、感染症や褥瘡などの増加にもつながります。当院では、平成18年4月より週1回の勉強会、症例検討、NST回診を開始しました。

目的

①入院患者及び外来通院の栄養状態の把握と適切な栄養療法を行う。支援の為、職種の壁を越えたチームとして構成すること。

②すべての入院患者様が適切な栄養管理を受ける事で様々な合併症を予防し、病気からの回復を助け、早期に社会復帰することを支援すること。

役割

①適切な栄養管理
②栄養管理の指導・提言
③栄養管理に伴う合併症の予防・早期発見・治療
④資材・素材の省略化
⑤各委員会との相互協力
⑥病院スタッフへの知識の習得



メンバーは、医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、検査技師、作業療法士、理学療法士、放射線技師で構成されました。平成19年4月よりNST稼動認定施設として稼動し始め、数々の実績をあげております。

最近の一例をご紹介します。

嚥下障害、認知症有り、食思なしの患者様で点滴による栄養補給後、リハビリにて摂食嚥下訓練を開始しました。食事開始後1日の摂取カロリーを把握し、まず嗜好を優先し、少量で必要エネルギーを満たす献立に変更しました。

嚥下状態も改善され、食事摂取も徐々に増え、発語もみられるようになりました。2週間後にはベッド上の食事介助から食堂で自力摂取できるようになり、ほぼ全量摂取可となり表情にも笑顔が見られるようになりました。アルブミン値は2.7から3.2となり栄養状態が上がり施設に転所されました。

まさしく口から食べ物が入り、ADLがアップされ栄養状態が改善された結果です。NSTの最終目標は、患者様が口から食事を摂取することです。NSTの立ち上げにより『栄養管理は全ての治療の基盤』という認識が、職員全体に定着しつつあります。結果、病棟からのコンサルテーションが増えております。

現在、低栄養を中心にアルブミン値が3以下の方を中心に介入者は9名です。数的には多くありませんが、当院ならではの随時対応するシステムの構築を図っていきます。スタッフ間での勉強会を重ね、患者様の笑顔を励みにがんばっていきたいと思っています。

診療情報便り

整形外科　当科を取り巻く医療状況

植木町国民健康保険植木病院 整形外科科長 リハビリテーション科科長（兼任）紫垣 光久

平成15年から熊大の医局講座から突然「整形外科」の名前がなくなりました。けっして整形外科講座が消失したわけではなく、「運動骨格病態学」という講座名に変更になったのです。よく美容整形とも間違われることも多かったためより適格な名称になったのではと思っています。

さて当院の整形外科は昨今の医師不足の余波を受け昨年の４月から一人部長体制となっております。これも厚生労働省による新研修医制度の余波で以前の体制に何時戻れるかは予想できません。けれども一人になったといっても来院される患者様の状況には関係ありません。土曜日の外来休診を最初に当科が導入しましたが大きな混乱なく移行できたのは患者様の御協力によるものと考えています。

受け持つ疾患は主に首から下の運動骨格に関する疾患で分類上は先天性疾患、成長期疾患、交通事故や労働災害による外傷、スポーツによる外傷、変性疾患、脊椎疾患、骨・軟部組織腫瘍、関節リウマチや骨髄炎などの炎症性疾患、あるいは骨粗鬆症などの代謝性疾患などの多種多様な外傷や疾患があって、きわめて守備範囲の広い診療科です。

骨・関節・筋の形態も部位ごとに異なるため治療法・診断も変化いし、複数で担当すれば上肢と下肢とで担当を分け合けて診療できますがそれもできないためつらいところはあります。まず一般整形外科として植木町の住民の健康を支えるとの心構えで日々の診療を行っています。具体的には月曜～金曜まで午前中は外来診療を優先し、午後は入院患者様の診療あるいは手術を優先しています。介護保険での相談も整形外科に関わる点も多いため特に入院患者の退院後の療養計画には力を入れすべての病棟のカンファレンスに関わるように努めています。

診察機器では単純Ｘ線・骨密度測定器に加え新病院になってからはＭＲＩ装置も導入されたため椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄症の診断に加え、骨粗鬆症に伴う椎体の圧迫骨折をはじめ不顕性骨折の診断も可能となってきています。マンパワーの点から以前よりも手術件数は減りました。当院で対応困難な手術症例については熊大医局関連の近隣整形外科へ紹介して、リハビリ期には当院へ戻ってこられて自宅療養の準備（在宅医療・介護保険）を行い、スムーズな連携がはかれるように協力をいただいています。



リハビリテーション部門についても整形外科の関与が大きいのでありますが、前々回の病院便りで御紹介しているように脳血管リハ・運動器リハ・呼吸器リハの施設基準認可をとっており、スタッフも複数の理学療法士・作業療法士を擁しており、整形外科疾患以外の疾患についても実施しています。医療期の過ぎた患者様については何とか介護保険での維持期のリハビリテーションが受けることができるようにと配慮しております。

外来からのご案内

◇健診科
①人間ドック（オプション有ります。）
- 日帰りコース
- 通院2日コース
- 1泊2日コース

②生活習慣病予防健診
③企業健診
④乳がん検診　触診とマンモグラフィー（町の助成金有り）
（お問い合わせは、国保植木病院
医事係　TEL096-273-2111内線101）

◇健康教室：3ヶ月に1回
（5月・8月・11月・2月に実施予定）
内　容：講演会
場　所：国保植木病院　2階会議室

◇糖尿病教室：毎月第1・2・3木曜日
国保植木病院2階会議室
（お問い合わせは、国保植木病院　外来内科
TEL096-273-2111（内線140）

外来診療のご案内

（平成19年7月1日現在）

診療科＼曜日	午前午後	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	第一診察室	勇	勇	勇	勇	勇
		第二診察室	山城	山城	山城	山城	
循環器科		循環器診察室	定永	鶴田	定永	鶴田	定永
外科		外科診察室	鳥越	久米	鳥越	久米	髙橋
整形外科		整形診察室	紫垣	紫垣	紫垣	紫垣	紫垣
脳神経外科		脳外科診察室				担当医	
肝炎外来	午後	脳外科診察室			合志		

※ **平日の午後及び土曜日は休診となります。**
※ 脳神経外科は第2・第4木曜日の午前中のみです。
※ 当院では、再診予約制を取っております。
診察時に次回予約を行って下さい。
また、予約変更の電話については、午後にお願いします。

受付時間：平　日／午前８：30 ～ 午前 11：30
診 察 日：月曜日 ～ 金曜日
休 診 日：平日（月～金）の午後
土曜日・日曜日及び祝祭日
年末年始（12月29日から翌年1月3日）
※ただし、急患の方は、これに限らず対応致します。

地域医療連携室のお知らせ

当院では、各医療機関との連携を推進しております。その窓口として「地域医療連携室」を平成14年12月に開設しましたので、ご活用下さいますようお願い申し上げます。

■地域医療連携室
担当者：前田 由美
電　話：TEL096－273－2111（代表）
096－272－0854（直通）
FAX096－272－0854（直通）



植木町国民健康保険
植木病院位置図

交通アクセス

九州産交バス
「町立病院･かがやき館前」バス停下車
熊本ー山鹿線をご利用の方は、
「五霊中学校前」バス停下車徒歩5分

乗用車
・熊本市中心部より30分
・山鹿市中心部より30分
・九州自動車道　植木インターから10分

編集後記

先日、宮崎県に行きましたが、どこのお店に行っても例の知事ブーム。店頭の幟、お菓子のパッケージなど、いろいろなものに知事のイラストが付いていることに驚きました。ところで、旅の目的というと、レジャー施設、観光名所、温泉、郷土料理など楽しみは沢山あります。しかし、自身にとっては史跡めぐりが一番の楽しみです。事前に、歴史関係の本やドラマで興味をもったところを調べて、旅の計画をたてます。今回は、日南市、飫肥藩の城下町を散策しました。日露戦争終結の際、ポーツマス条約調印で知られる外相“小村寿太郎”の生誕の地でもあるそうです。苔の生した石垣や幕末から明治にかけての建造物、また、ここの藩校“振徳堂”など興味のあるものばかりでした。この藩校出身“小倉処平”という人物は西南の役の際、薩軍飫肥隊隊長だったそうです。西南の役というと植木町は田原坂で有名な町ですが、旅先でこのような歴史のつながりに出会うことができました。このように各地には歴史的名所が点在し、そこには長い礎と連鎖があることを感じます。

－Julius.－